

大学入学共通テストの分析

1月20日（火）

今日1月20日（火）は「大寒」です。1年で最も寒い時期とされますが、一年で最も寒い時期に関わらず、先週のように春の陽気でしたが明日から寒気がいすわるとのこと・・・昔から「柏原の厄除祭までは雪が降る」と言われてきましたが、今年はどうなのでしょう？起床時はまだ暗いですが、夕方は少し日が長くなりました。来週より下校時間も15分繰り下げ、16時45分としています。高校受験に向け、私立高校の出願も順調に進み、現在は公立高校推薦入試の準備（願書点検や面接指導）を行っています。公立高校推薦入試のシステム出願は2月5日（木）の正午までです。2月10日（火）に私立入試、2月16日（月）に公立高校推薦入試と続きます。気象データ上も1月下旬～2月上旬までが、最も寒くなる時期だと分かっています。今週末、第一日程が終わった大学入学共通テストも、下旬に第二日程、1月下旬から私立大学、2月末には国公立の二次試験とハードなスケジュールが続きます。大学入試センターが発表した確定志願者数は、前年度比1,066人増の49万6,237人で、前年度に続き50万人を下回った。現役生は前年度比5,657人減となったものの、既卒者が6,336人増と大幅に増加し、総志願者数を押し上げた形となった。では「なぜ、浪人生が増えているのか。その背景として、2025年度入試で安全志向が強まったことが考えられます。難関大の志願者が減る一方、私立大の志願者は約8%増加しました。こうした動向から、第一志望より入りやすい大学を受験して進学したものの、不本意な進学に後悔し、再受験に踏み切る人が増えているためではないかと見ています。ただ、大学に籍を置きながら受験勉強を続ける仮面浪人は難しい面があります。受験生を取り巻く状況が変化する一方で、共通テストを利用する大学側の体制も毎年見直しが行われている。2026年度の共通テスト利用大学・専門職大学・短期大学の総数は、前年度比25校減の813校。このうち大学は687大学（国立81校、公立95校、私立511校）、専門職大学は12大学（公立3校、私立9校）、短期大学は113大学（公立13校、私立100校）。前年度より、私立大学が11校減、私立短期大学が15校減となる一方で、私立専門職大学と私立専門職短期大学はそれぞれ1校ずつ増加している。大学入学共通テストは、現行の新学習指導要領対応に伴う教科・科目の再編で昨年度初めて導入された「情報」の試験が今年度も行われた。

※1・2年生は、12月に実施した丹波市学習定着度調査の結果が
まもなく返ってきます。今後、国語科、数学科の先生方が授業改善
に向けて分析をしています。生徒には個票の見方を説明した
後、返却しますので保護者の方も必ず目を通してください。

